

2025年度EDU-Portシンポジウム 「新国際教育プログラムの構築」

2026年2月27日（金）

文部科学省大臣官房国際課長
平山 直子

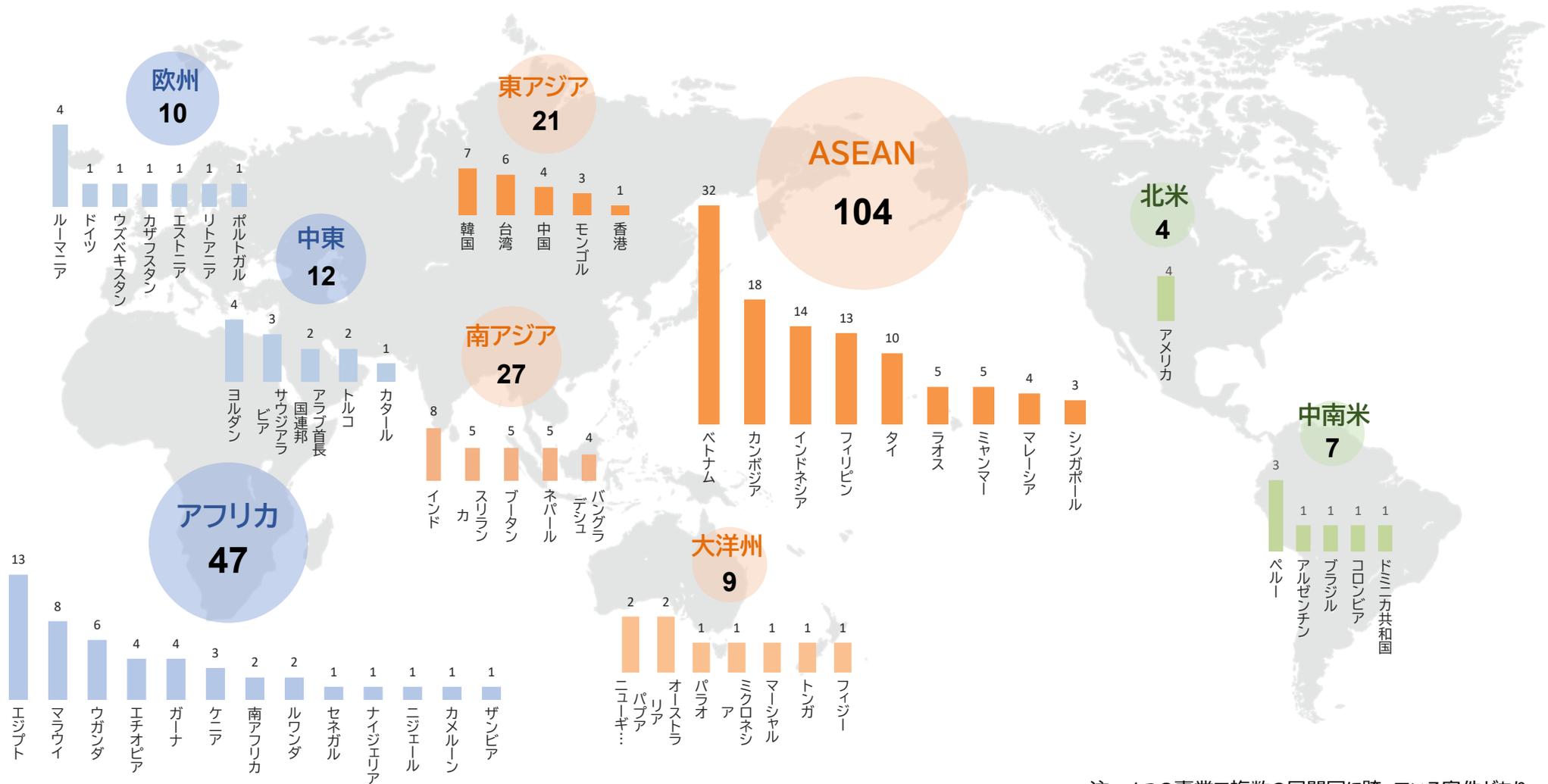


文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

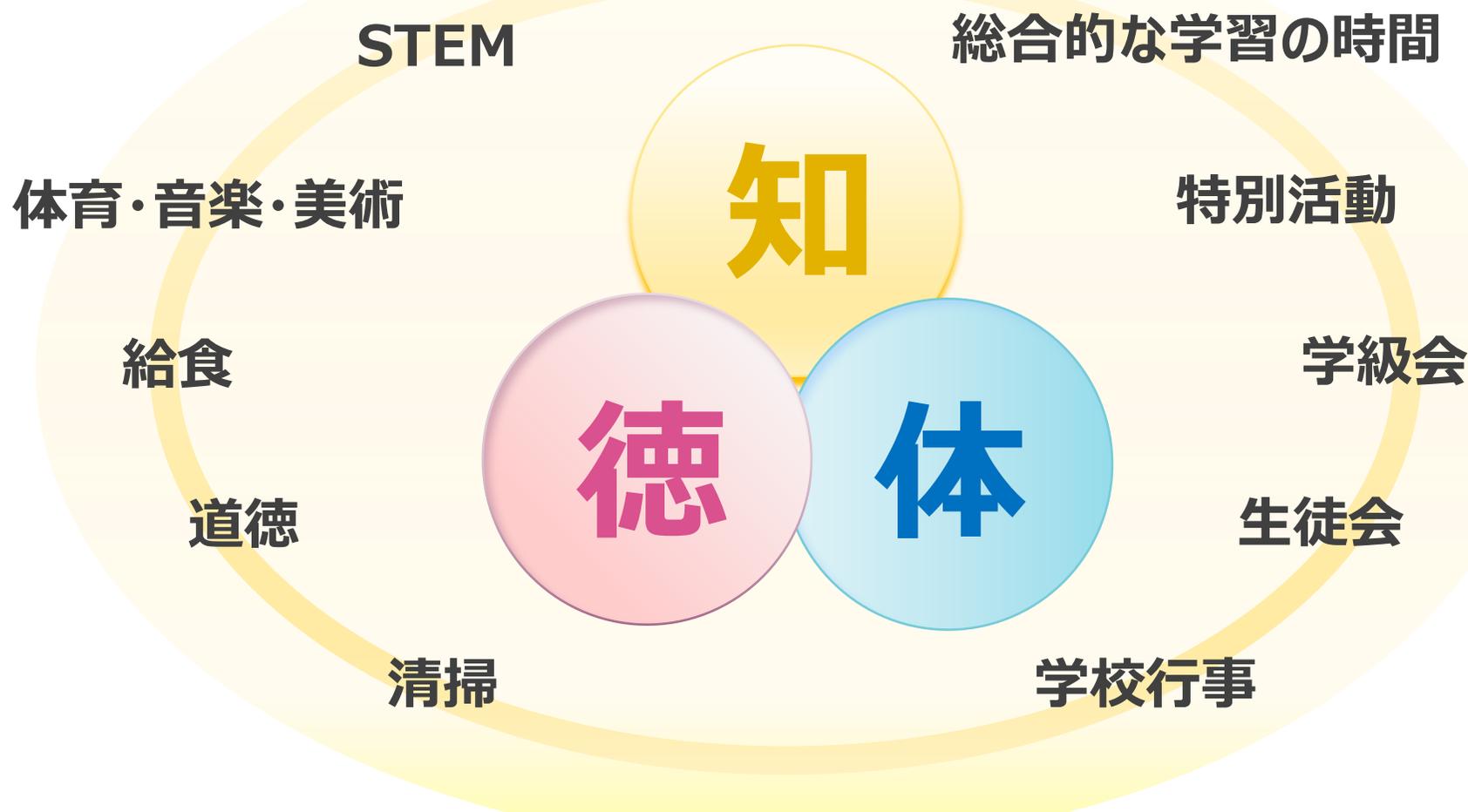
国・地域別事業実績（2016年度～2025年度）



注：1つの事業で複数の展開国に跨っている案件があり、その分の重複分を含んだデータ

2016年度から2025年度の実績

- 応援プロジェクト及び調査研究事業を合計57か国・地域において、145件実施
- 日本側の教員、職員、生徒等の参加人数11万人超
- 相手国の教育、職員、児童等の参加人数120万人超



教育の機会均等、質の高い教育水準を支える国の制度



学習指導
要領



教科書使用
義務付け



質の高い教員
国が給与の
1/3を負担

優れた栄養バランス

- 「学校給食実施基準」に準拠。
- 児童生徒の発達段階に応じて、栄養のバランスが取れた、毎日の献立が作られる。



学校給食（地域の畑で生徒たちが収穫したキャベツを使用）

社会性、責任感

- 給食当番や配膳・後片付けなどの活動を通じて、仲間と共に準備し食事をする経験を持つ。
- 協力の気持ちや責任感、社会性が育つ。



生徒自ら配膳を行う

徹底した衛生管理

- 「学校給食衛生管理基準」に準拠。
- 食品の選定から児童生徒へ学校給食が届くまで、食中毒などの事故が起こらないよう、管理されている。

栄養教諭制度

- 栄養教諭は2005年度創設。
- 学校給食の管理、児童生徒への食に関する指導を行う。
- 食育の中核的役割を担う。

エジプトにおける日本式教育「特活」の実践

エジプト日本学校 (EJS)

日エジプト政府間の協力枠組みの下、日本式教育を導入



EJSの音楽授業を視察する松本文部科学大臣
(2026年1月)



教室の掃除



学級会



石鹼で手洗い



体カテスト

- 学校数：69校（今後500校に拡大予定）
- 生徒数：2万人以上
- 教員数：3千人以上
- 日本の「知・徳・体」の全人教育を、「特活（Tokkatsu）」（学級会、日直、掃除、学校行事等）、体育・音楽等を通じて推進し、協調性、社会性、規範順守等の醸成に取り組む。
- Tokkatsuは、国定カリキュラムの一部として毎週週1コマ40分を小学校にて行う。中学校は教科の一部として実施。

日本人関係者

- JICA専門家：教育専門家、コンサルタントを派遣。
- JICA海外協力隊員：日本人の現職教員。
- 「日本人スーパーバイザー（SV）」：校長経験のある日本人。
現在17名在籍。



背景

学力だけでは測れないスキル（非認知能力）を巡る、近年の国際的教育議論の動向

国連、ユネスコ

- 2019年：Future of Education
（ユネスコ主導の教育の再定義の理念構築プロジェクト。教育を「測定可能な能力」ではなく「社会契約の構成要素」として位置づけ）
- 2022年：Transforming Education Summit (TES)
（国連事務総長主導のハイレベル政治サミット。教育の変革を世界的な政治課題として位置づけ。「全人的な学習」「未来に対する能力育成」等も対象）
- 2024年：International Forum on the Futures of Education 2024
（ユネスコ主催の対話フォーラム。TESの枠組みの中で具体的な議論を実施）

OECD

- 2015年：「Skills for Social Progress: The Power of Social and Emotional Skills」
（「社会情動的スキル」を体系的に位置つけたレポート。非認知能力（情動制御、協働、達成動機）等を教育政策に含める意義について説明）
- 2019年：「Survey on Social and Emotional Skills (SSES)」
（初の大規模国際比較調査を実施。2021年以降、社会情動的スキルに関する国際報告書・政策資料を公表）

⚙️ 国際教育プログラム「知・徳・体 CHI-TOKU-TAI」（仮称）の構築

<2026年度の計画>

- 「知・徳・体」の考え方と、それに基づく教育実践を整理・再構成
- 言語化されたコンセプトを、近年の国際的な教育議論に沿って体系化
- **「CHI-TOKU-TAI」（仮称）プログラムの作成**
 - <以降、複数年をかけて実施>
 - 国際会議等での発表
 - トライアル関心国への働きかけ
 - 展開国向けにカスタマイズ化

ポストSDGsに向けた議論

SDGs

Education for Sustainable
Development

Beyond SDGs / Beyond 2030
Collaborative Well-being
（協働的ウェルビーイング）

日本が積極的に貢献

外交等日程例

ガーナ、エジプト政策対話の
開始（2026年～）

PALM11
（2027年）

TICAD10
（2028年）

SDGs最終年
（2030年）

ありがとうございました

EDU-Port Japan



検索!



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

